

在本邦アメリカ合衆国大使館特命全権大使

ウィリアム・F・ハガティ 閣下

抗議文

このたび、貴国がネバダ州の国家安全保障施設において、昨年12月に臨界前核実験を実施しており、また、今後も実験を計画しているとの報道に接しました。

新たな核兵器開発へつながる核実験を実施することは、核兵器廃絶を願う人々の期待を裏切るもので、国際社会における核軍縮・不拡散への取り組みに逆行するものであり、激しい憤りを覚えます。

また、貴国の新たな核実験は、今後の北朝鮮の非核化に悪影響をもたらすのではないかと懸念しています。

私たち帯広市民は、核兵器のない真の世界平和の実現に向けて、貴国が核軍縮に取り組み、再度の核実験及び核開発につながるすべての行為を行わないよう強く求めます。

上記抗議内容について、本国へ伝達されるようお願いいたします。

2018年10月12日

帯広市長 米沢 則寿